

予算	款	項	目	決算書
	6	2	1	224 頁

目名
畜産業振興費

事業名称
経営基盤強化対策事業

1. 概要

目的	生産基盤確立と意欲と所得の向上	対象	畜産農家
事業概要	<p>○畜産経営基盤強化事業・・・国及び県の補助事業に該当するものを除き、畜産農家又は営農集団にあつては、施設の新築、改造及び増築、家畜排せつ物処理施設の設置及び機械導入並びに飼料生産用機械導入に要する経費を支援した。 ・[事業内訳] 施設整備：4施設 機械整備：9件</p> <p>○乳用牛保留事業・・・乳用牛を自家保留し初妊牛から経産牛に至るまでの飼育管理経費の一部を助成。 ・[事業費] 63頭</p> <p>○酪農経営構造改善推進事業・・・酪農経営の強化を図るため、新技術の導入等を行い省力化対策につとめ、飼養管理形態の改善を目的に機械等の導入に要する経費を支援した。 ・[補助率]1/2(県1/3、市1/6) 施設整備 1施設</p> <p>○肉用牛生産効率化施設整備事業・・・肉用牛増頭3か年計画に基づき、より効率的で省力的な経営を目指し、生産規模を拡大する農家の施設並びに機械整備に対し助成を図った。 ・[補助率] 施設・機械整備 1/2(県1/3市1/6)、[積算] 施設整備 堆肥舎 262.5㎡ 機械整備 噴霧器 1台</p> <p>○繁殖雌牛増頭対策事業・・・オレイン酸生成能力及び産肉能力の優れた繁殖雌牛の増頭を支援することで、その割合を高め、市場性の高い素牛を安定供給できる体制を整備した。 ・[補助率]県2/3(上限42千円) 市1/3(21千円) ・事業費 30頭</p> <p>○被災農業者向け経営体育成支援事業・・・平成26年2月の降雪により被災した生産施設等の再建に取り組む畜産農家に対し、補助金を交付し、早期の生産力回復を図った。 ・畜産関連施設(畜舎・堆肥舎・飼料倉庫・機械庫) 対象者 9戸</p>		

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	畜産経営基盤強化事業	施設4件 機械整備9件	負担金補助及び交付金 4,299	3,683				3,683	3
経常	乳用牛保留事業	対象牛(63頭)	負担金補助及び交付金 3,150	3,150				3,150	3
臨時	酪農経営構造改善推進事業	施設1件	負担金補助及び交付金 154	154	102			52	3
臨時	肉用牛生産効率化施設整備事業	対象者(2戸)	負担金補助及び交付金 1,875	1,735	1,155			580	3
新規									
臨時	繁殖雌牛増頭対策事業	対象牛(30頭)	負担金補助及び交付金 1,890	1,890	1,260			630	3
臨時	被災農業者向け経営体育成支援事業	対象者(9戸)	負担金補助及び交付金 20,480					0	3
廃止									
	低コスト肉用牛大規模経営体育成事業								
計			31,848	10,612	2,517	0	0	8,095	

2. 指標設定

成果指標	指標名	生産基盤の改善・強化	目標年度	H27				指標の設定理由			
	数値	—		—				生産基盤や経営基盤の強化に努め、生産額と経営の安定			
活動指標	指標	a	肉用牛平均飼養頭数	b	乳用牛平均乳量	c		d			
	数値	目標	10頭	目標	8,000kg	目標		目標			

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
生産基盤の改善・強化		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23		H24		H25	
a 肉用牛平均飼養頭数	頭	8.1	頭	8.1	頭	8.3	頭
		81.0	%	81.0	%	83.0	%
b 乳用牛平均乳量	kg	7,259	kg	7,563	kg	7,636	kg
		90.7	%	94.5	%	95.5	%
c		—		—		—	
		—		—		—	
d		—		—		—	
		—		—		—	

4. 課題と対応

課題
飼養農家戸数の減少に加え頭数の減少も大きい。
対応（改善点等）
今後は個々の経営基盤の強化を図り経営の安定化に努める。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

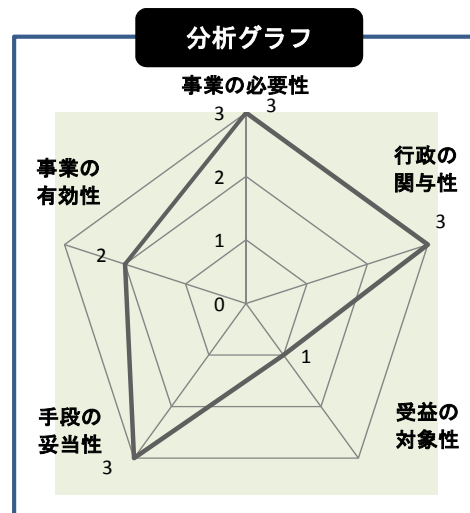
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		10,577	15,972	10,612	12,498
うち経常経費		3,100	2,650	3,150	2,500
財源内訳	国費				
	県費	1,467	7,448	2,517	3,076
	市債				
	その他				
	一般財源	9,110	8,524	8,095	9,422
うち経常		3,100	2,650	3,150	2,500
事業費に係る人件費		7,998	5,582	4,795	6,210
事業費に係る人役		1.86	1.30	1.10	1.40

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市単事業等の規則及び要綱を見直した。継続して基盤強化に努める。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 子牛価格が高騰する中で、配合飼料・燃料等の高騰により農家の経営は不安定なため、今後は基盤強化をさらに取り組む。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 県との連携により事業の展開を行う。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 新規就農や集落営農組織等に畜産業の取り組みを推進する。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 個々の経営に状況を把握し事業の推進を行う。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 個々の経営規模も徐々に拡大傾向にある。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき、事業を検証し推進すること。